

8 中学生による避難所づくり

取組分類	参加体験	行動特性	デジタル
		☑避難しやすい	
自治体	広島県熊野町		

問合せ先：広島県熊野町 防災安全課

取組概要

- 中学校の授業にて、「**避難したくなる避難所を自分たちでつくろう**」をテーマに、中学生が避難所受付やダンボールベッド組立て等の体験訓練を実施した。
- 学習を通じて、中学生が「**自分たちができること**」、「**町や大人にお願いしたいこと**」について意見発表を行った。

取組のきっかけ

- 平成30年7月豪雨では、町内で12名が犠牲となり、中学校の中にも避難所生活を送った生徒がいた。
- 中学生として、自分自身や身近な人たちの命を守るとともに、地域全体の防災・減災の担い手として行動できる力を育成するために、取組を行った。

取組のポイント

- 中学生は、避難所の見学・設営体験を通じて、災害時に**自分たちが出来ることを考え、行動できることを目指した。**
- 避難したくなる避難所づくりのために、アイデアをまとめたうえで、「自分たちができること」「町や大人にお願いしたいこと」について意見発表を行い、それぞれが取り組める課題について解決策を探った。

▼避難所用マット体験



▼間仕切り・段ボールベッド組立て体験



取組の効果

- 中学生からの政策提案を参考に、町として対応を行った。
- 備蓄物資や備蓄場所を知ることにより、**避難所を開設した際、中学生が物資の運搬等に積極的に関わってくれた。**

【中学生からの提案と町の対応】

- ・避難所で栄養価の高い副菜の調達
→ (町) 野菜ジュースを備蓄
- ・聴覚障がい者への対応や情報発信
→ (町) ライティングシートの活用
- ・シャワーの提供
→ (町) 防災交流センター内にシャワー室を整備